

船舶事故調査報告書

平成25年8月1日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成25年5月15日 14時00分ごろ～16日 05時00分ごろの間）
発生場所	不明（秋田県男鹿市若美漁港～同漁港北西方沖の間）
事故調査の経過	<p>平成25年5月17日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。</p> <p>原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。</p>
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 秋丸、1.3トン AT3-8639（漁船登録番号）、個人所有 6.88m(Lr)×2.04m×0.82m、FRP ガソリン機関（船外機）、60kW、平成18年4月14日
乗組員等に関する情報	船長 男性 79歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年8月20日 免許証交付日 平成20年10月20日 （平成26年10月10日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、いいたこ漁のため、平成25年5月15日14時00分ごろ若美漁港を出港したところを船長の家族が目撃した。</p> <p>船長の家族は、船長が帰港予定時刻になっても戻らないので、本船を捜し、19時10分ごろ海上保安庁に通報した。</p> <p>巡視船及び僚船によって本船の捜索が行われ、若美漁港北西方沖を捜索中の僚船が、16日05時00分ごろ本船が無人で漂流しているところを発見した。</p> <p>船長は、29日朝、男鹿市宮沢海水浴場沖に設置されている網に絡まっているところを発見され、死因は不詳と検案された。</p>
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 3 海象：海上 平穏
その他の事項	船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかったものの、ふだん、

	<p>操業中には救命胴衣を着用していた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>船長の死因は、不詳であった。</p> <p>本船は、14時00分ごろ若美漁港を出港したのち、16日05時00分ごろ、若美漁港北西方沖において、無人の状態で発見されたことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が若美漁港を出港したのち、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1人乗りの漁船の船長は、漁ろうに従事している場合、救命胴衣を着用する必要があるが、また、救命胴衣は落水時に外れないように適切に着用すること。 ・ 緊急時に連絡が取れるように防水対応の携帯電話をすぐに取り出せる位置（着衣のポケットなど）に保管しておくことが望ましい。